

## 拡張決まり字クイズ

決まり字というのは、百人一首の歌を区別するために最小限必要な、上の句の先頭の文字のことです。たとえば、「むらさめのつゆもまだひぬ・・・」の場合なら、「む」から始まる歌はほかにはないので「む」が決まり字ということになります。

決まり字の概念を拡張し、上の句の任意の場所に出現する、ユニークな（他の歌には存在しない）文字列を探してみました。この場合も、この文字列を見るだけで下の句が類推できるという意味で、決まり字の一種といえるでしょう。ただし、従来の定義での決まり字が、この拡張決まり字に含まれるとは限りません。たとえば上述の「む」は、他の歌の上の句に頻出しますので、拡張決まり字ではありません。

例えば、拡張決まり字が「ぎて」の場合、「はるすぎて なつきにけらし」だけが上の句に「ぎて」を含んでいるので、答は「ころもほすてふ」となります。

拡張決まり字は、2文字のものが約500種類、3文字だと1200種類もあります。これを覚えていれば、歌のごく断片だけしか聞こえなくても、下の句を思い出すことができるはず。

2文字の拡張決まり字をリストしてみました。下の句をどれくらい思いだせるかな？

1. - 2文字の拡張決まり字の答（下の句,txtファイル）
2. - 拡張決まり字探索スクリプト
3. - 百人一首の元データ (unicode)

ぎて  
きはら  
きゆら  
じよ  
むぐる  
がめぐ  
さかに  
かだなる  
すあは  
らくは  
いさぬ  
さうな  
これの  
くりひ  
りとね  
とし  
るまし  
まをさ  
くなど  
のな  
かきも  
かきも  
まの  
めしば  
ぜふ

くえてめがきつすれこあきはさけそよりじくぬにはがおつなりいのむさよだけるれよときとをしんこのせれいせのはいはりえんわすまにぎるまぐすいすまこれずてらするせえうことく  
かにかにゆたじはくつくきげはましさおくれかかいておだじをだしとたおまえさしこねくけるるなせたぎつするたひれかきしあこかとよすいなこいとじじつそえさつかくさりいはもあ

おせせりでわしせむちやてわやだしたよおどおふばなればにつにうてりふかじせちけをぶくまげぬてわしわそはほびたほばぬらなりしうゆさぢなえもてりびたもけばずぶつもやべるか  
じにささつぎやかるさみのけがよひくをなたわりしけをはつのきるつしみぞしばょうしにつどれひもでほえなおりさをとねそふいまなさきはになねあにわぬなよばまれきみりふきなつ

きかちもじひぐをみもなたぬひるぶんこはつかべみむみとくひぬがおもわくおかまりましたおこぎなけはしあけくくさほぬこもがしそぬたはいさえるたよそひふるらのひたまおあてか  
もつすぶえきよせすきみにひだみられおかおるつけつすぬにつえしやさをせれねをささかきまでとくむねえくたびくくのちらきとにでつながくこれよそがばしえずほてけもめうとが

んだはすちめらさけまのじれらかなおとるしもまほたれはしえおはたつやさやしきぞかばしこつとつそさせめえらきのそになむわよもそよしるよのばのれぬりきほまゆびさせよないくい

やばもさるすえすしたわはひみかじをなやきぢどきゆこりのせばのえもをはとねくけやすれことくきゆらじるをえいばまめけかつぬおほりごつこさよとじくむわだよぶなとをにとはと  
まわもいもりにもめとちびおはもなみつにるちかわふたずるみぞどしゆまんさできどるとさがけはなよなあぶじすどくのらげじりはをめつのもまぬにてうさすつあるいやぎできさおこ

わじよむだしすなくかかしきじぐきやねでこどもみえをしをあはをにかつあててびわやなよをぞかねばあふこくなおもよのそくせ  
れみだふわすらかむりいうびろさえをちばまだぜりしめゆもひそをびあみたてれふしどゆちらとけずらまもたがとうぜつせ

[2006年2月18日]